

常任委員会

定例会2日目(12月10日)に提案・付託された請願第1号について、12月13日の常任委員会で審査を行いました。

委員会では、紹介議員(大野栄光、高子秀明)と提出者(白石第一幼稚園を残す会代表 正田秀應氏)から請願の趣旨等の説明、教育委員会から休園に係る考え等の説明を受け、それぞれ質疑を行いました。質疑終了後、討論が行われ、採決の結果、賛成者多数で採択となりました。

審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

厚生文教常任委員会

- 委員長 佐藤 秀行
- 副委員長 平間 知一
- 委員 佐藤龍彦・伊藤勝美
- 沼倉啓介・佐久間儀郎
- 四竈英夫・高子秀明
- 松野久郎

◎白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願

次年度(令和3年3月31日)

をもっての白石市第一幼稚園の休園決定に対し、白石第一幼稚園を残す会は市へ異議申し立てを行うにあたり、市議会にも取り上げてもらうため、白石市第一幼稚園休園の

白紙撤回並びに次年度の年少組の園児募集の即時再開とその周知を請願するものです。

●紹介議員と提出者への質疑
【質疑】今回の件は、丁寧な説明などのプロセスが欠けていたことは否めないが、幼児教育の充実が今回の教育委員会としての大きな目的だと考える。この目的に対してどのように考えているか。

【答弁】幼児教育の重要性は非常に重く感じている。しかし、教育委員会に対しては、説明会で保護者から反発の意見を受けた後に休園を一年

延期したことや、行政と家庭は両輪であると説明しているにもかかわらず、ヒアリングやアンケートは行わないというところに矛盾や疑問が残る。そういう矛盾などが起きないよう、多角的な意見を探り上げていただき、検討し直していただきたいと考える。

●教育委員会への質疑

【質疑】検討から休園の決定、保護者・関係者への告知まではたった10カ月のことであった。なぜ、もう少し早い時期にお知らせすることができなかったのか。

【答弁】市立幼稚園の就園児数が両園とも定員の50%を下回ったのは昨年度からであった。50%を上回る状態での1園休園は定員超過となることから、検討は昨年10月頃から開始したところである。

また、休園という選択を行った後も、単に1園を残すのではなく、幼児教育無償化を迎えても選んでいただけの幼稚園を目指すため、給食の提供や保育の時間延長といった付加価値を付けるための検

討・調整を行なった結果、この時期になってしまったという経緯がある。

【質疑】教育委員会で話し合われ、このような重大な決定がなされる時に、なぜ保護者などへ意見を聴取する機会を設けなかったのか。

【答弁】役員には、一定程度ご説明させていただいており、また、公式ではないが、保護者にも個別に機会を設け、直接ご意見をいただいた経緯はある。

【質疑】石巻市大川小学校津波事故における最高裁判所の決定を非常に重く受け止め、園児の安全確保、さらに防災の観点から平屋建てである第二幼稚園を残すべきと判断したとの説明だが、なぜ、事前に保護者や関係者に対し、その話をする機会を設けなかったのか。

【答弁】大川小学校の裁判を重く受け止めてはいるが、最高裁の判決は本年10月まで係争中だったことから、8月の時点で説明を控えており、大きくは触れなかった。

第438回 市議会定例会厚生文教常任委員会(12月13日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	審査結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			佐藤龍彦	伊藤勝美	沼倉啓介	平間知一	佐久間儀郎	四竈英夫	高子秀明	佐藤秀行	松野久郎
請願第1号 白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願		採択	○	○	○	○	×	×	○	委	×

※「○」⇒採択に賛成した委員、「×」⇒採択に反対した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない

※厚生文教常任委員会は議員9人で構成される